

対面式を中高生全員で行うことができました!!

この3年間、コロナのために対面式を中高生全員で行うことができませんでしたが、4月15日(土)の4時間目、全員そろって遺愛アリーナで行うことができました。

吹奏楽局の演奏で新中1・新高1の皆さんが担任の先生を先頭に入場し、校長挨拶、生徒会会長歓迎の挨拶、新入生代表の挨拶があり、クラス代表にお花が贈呈されました。そのあと、中学生は講堂に移動し、中高別々に部活動紹介が行われました。

校長挨拶の際に、恒例の「がんばっていきまっしょい!!」のエールをしました。新入生の皆さんの中には、「なにこれ?!」と思った人もいたと思います。

実は15年前から対面式、壮行式、遺愛祭などの機会に、このエールをおくっています。これは以前、映画化・TVドラマで放送された『がんばっていきまっしょい!』という青春ドラマに出てきた対面式の際に行われていたものでした。愛媛の高校を舞台にしたドラマで、主人公の女子高生は、中学時代何でも中途半端でした。親ともうまくいかず、高校に入ったら自分を変えようと考えます。『**深い深い友達がほしい。濃い濃い高校生活をおくりたい。**』と考え、ボート部に入ります。しかし女子部員は1人もいなくて、部員集めから始めましたが、最後3年生では全国大会にまで出場するというドラマです。

いろいろな出来事を通し、深い友情と濃い高校生活を彼女は本当に手に入れていきました。もともとは敷村良子さんが母校をモデルに書いた小説で、1995年に第4回坊ちゃん文学賞を受賞した作品ですが、のちに映画化(田中麗奈主演)、テレビのドラマ化されました。実は、琵琶湖で第66回朝日レガッタ大会



新入生へお花の贈呈

というボート全国大会(ドラマで主人公が目指していた全国大会)がありました。そこでドラマのモデル校になった松山東高校の女子部員がダブルスカルという部門で念願の初優勝を遂げました。優勝した生徒は中学時代に『がんばっていきまっしょい!』をビデオで観て、松山東高校を志望し入学したそうです。ちなみに「がんばっていきまっしょい!」というかけ声は、今でも松山東高校で入学式や体育の授業前のランニング時に実際に使用されているそうです。

「遺愛生、がんばっていきまっしょい!」

2023年4月18日(火)